

2022 年 11 月 3 0 日

日野市長 大坪冬彦 様

日本共産党日野市議団

## 加齢性難聴者への聞こえの支援・補聴器補助制度の

### 実施へ向けた緊急申し入れ

現在、日野市においては、来年度から加齢性難聴者への聞こえの支援・補聴器購入費補助制度を実施すべく、さまざまな調査や検討を行っているところだと認識しております。

党市議団は、日野市立病院における実践例をはじめ全都・全国の様々な取り組み事例を踏まえ、昨年末(12 月 2 8 日)に申し入れを行い、今年 9 月に、あらためてわたなべ三枝市議の一般質問で聞こえの支援に必要な視点と施策を提起させていただいてきました。何より、加齢性難聴者にとってより必要とされ、また利用いただける制度としていくためには、①聞こえの相談会・窓口の設置と高齢者健診における聴覚検査の導入、②必要な人が費用の心配なく補聴器を購入できる補助制度の創設、③補聴器購入にあたっての調整・トレーニングへの支援、④補聴器購入後の相談・調整などアフターフォロー体制などを整えることが必要だと考えています。

その上で、年金削減や物価高騰の中で、加齢性難聴で補聴器を必要としている人が、補助制度ができて、購入できないという方を出さないために、できるだけ充実した補助制度とすることが緊急・切実に求められていると実感しております。

よって党市議団として、補聴器購入費の補助にあたって以下の緊急要望を行うものです。

### 記

加齢性難聴で補聴器を必要としているすべて人が補聴器を購入できるように、補助額を 5 万円以上とするとともに、補聴器そのものを支給(現物支給)する制度もつくり、選択できるようにすること。